

2024.02.01.木曜礼拝「今現在成就している聖書預言 パート2」

エゼキエル39章

JD ファラグ牧師

主よ、ありがとうございます。一緒に祈りましょう。主よ、私たちはあなたの光を輝かせたいです。あなたの御言葉に深く入ると、あなたの御言葉が私たちの中に入り、私たちの光は輝きます。それに、努力する必要もありません。主よ、あなたの言葉を実践するだけです。今夜、あなたの御言葉に入るとき、主よ、私たちに語りかけてくださいますか？ 今夜、あなたが教えてくださいますか？ 心から感謝します。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。イエスの御名、私たちの唯一の御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。皆さん、こんばんは。ようこそ。来てくださり大変嬉しいです。ご機嫌いかがですか？ どうぞご着席ください。(会衆：笑い) それってあまり説得力がなかったですが、まあいいでしょう。オンラインでご参加の方も歓迎します。始める前に、2、3連絡事項です。まず初めに、今夜の聖書の学びの後に、聖餐式のお祝いをします。まだ聖餐式セットを取ってない方、(礼拝堂)の後ろにあります。いや、後ろから前に置いたのかと思いましたが、まだ後ろに置いてるんですよ。今、セットを取っておいてください。オンラインの方は、一緒に与るなら、今用意しておいてください。その間に、お知らせしたいのは、今度の火曜日、2月6日午後7時から、ここ礼拝堂で、祈り会をします。私たちが見ていくのは、『神が短い3語の祈りに答えてくださる』だけでなく、、、嬉しくないですか？ 特に私たちが試練の中にいるとき、主は答えてくださいますが、また、それより大きな試練から私たちを守るため、その試練を許すことが必要だと思われる時もあります。それを火曜日、簡略に(←有名な最後のセリフ)話します。その後、妻に関しての個人的な祈りの最新情報を分かち合います。そして、私たちの牧師たちに登場してもらい、スタッフにも出てもらい、どうしたの？ おお、なんとありがとう。私はふさわしくありません。わお～マイク、ありがとう。僕のことを考えてくれてありがとう。そう、今夜は皆さんが聖餐式に与るのを、私は見ているんだと思いました。どうもありがとう。そうなら、酷いことになったでしょうね。聖書の学びの後、ここにいながら、聖餐式セットがなかったら。わお～ それでも動揺はしないでしょうけど。それで(祈り会)は、牧師たちに上がってもらって、分かち合い、具体的に祈ってもらい、また、特定のニーズに対して、スタッフが、特に子供たちのためのミニストーリーのため、伊藤クリスに上がってもらいます。彼女が分かっているのを願いますが、クリスはいますか？ この建物を去ったね。これが原因かな。その後、時間が許せば、人々が私たちに送ってくれた、祈るように依頼した多くの祈りのリクエストに、教会全体での執りなしの祈りをオープンにしたいと思います。また最後に、テレサの人生のお祝いは、土曜日、ここ教会で行います。午前10時55分に開始し、その後、午後2時30分から、ミリラニ・メモリアルで墓前礼拝を行います。いくつかの理由から、皆さんのお祈りを切望します。そのうちのひとつは、出席者の数です。私たちはこれを、教会のドアを開けることはおろか、福音を聞くこともなかったであろう出席者にイエスを伝える機会だと考えています。ですから、これは私たちにとって大きな特権で、チャンスなのです。ライブ配信を予定しています。ウェブサイトではなく、ソーシャルメディア・プラットフォームで。ウェブサイトは必要ありません。定員に達してしまうと、それ以上人を入れることができなくなってしまうからです。定員に達すると消防法違反になるから。私たちは法律を守る市民です。大抵はね。2020年を除いては。ですから、それが今週の土曜日です。もし来られず、ご覧になりたいなら、オンラインで見ただけです。しかし、もっと重要なのは、どうか、どうか、私たちのために祈ってください。私のために、そしてスタッフや多くのボランティアのために祈ってください。総動員となり、明らかな理由から、非常に関与し張り詰めたものとなるでしょう。ですからどうかお願いします。では今夜は、「エゼキエル書39章」です。

祈りましょう。カポノが祈りましたが、祈りすぎということなどあるのですか？ じゃあ、祈りましょう。お父様、ありがとうございます。主よ、私たちは木曜日の夜、集えるこの場所をあなたに心から感謝します。私たちのストレスの多い生活の全てを脇に置き、あなたとあなたの御言葉に注意を向け、礼拝と交わりの中で共に過ごします。主よ、今夜、祝福くださいますか？ 今夜の聖書の学びの終わりに行く、私たちの聖餐式を祝福ください。そのため私たちはここにいます。あなたに祝福をお願いするだけでなく、あなたの祝福になりたいからです。主よ、私たちは、あなたを祝福したいのです。あなたを褒め称えたいのです。私

たちは、あなたに感謝したいのです。そして今、私たちは、あなたの聖霊の静かな小さな御声で語られるのを聞きたいのです。ですから主よ、そうしてくださいませんか？ ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

それでは！ すでにご存知の方も多いと思いますが、エゼキエル書 38 章と 39 章は、通常一緒に教えられていて、その理由は、よく知られた預言だからです。この 2 つの章は、基本的に同じ預言的出来事に関する内容だから、一緒に教えられています。でも私はこれらの章を、2 部構成で教えることにして、つけたタイトルは、『今現在成就している聖書預言』で、今夜はパート 2 です。38 章とこの有名な預言について、よく知らない人、もし聖書預言があなたにとって目新しいものでも大丈夫ですよ。これは、イスラエルを北から攻撃する連合国家に関する、聖書の中で最もよく知られた預言の一つで、彼らは、この預言が成就する時、イスラエルが蓄えている富と繁栄を奪うためにそうするのです。それで、先週が 38 章だったので、空白を埋めるため最善を尽くします。39 章はその続きみたいなもの、この具体的な預言のさらなる詳細なので簡単です。因みに、今現在起こっているのですよ。私たちは、この 38 章と 39 章の成就を目撃しようとしています。これは、患難時代前教会携挙の"直前"に起こるか、患難時代前教会携挙と"同時"に起こるか、患難時代前教会携挙の"直後"に起こるかのいずれかだと多くの人が信じているからです。で、ポイントは、全てが完璧に揃っているから携挙が、もうまもなく起こることです。これは本文に入る前の前置きですが、私が言うことを、どうかどうか聞いてください。先週のような 38 章は、この預言の細部に、この預言が"今"成就しないようになるものは何もありません。先週はそれらを取り上げました。今週もそうするつもりですけど、それほどではなく、しかし、解決せねばならない問題がいくつかあって、誤解されているために、この預言成就の可能性を遅らせる障壁や障害となっているからです。それをしないでください。なぜなら、全ての準備がもうすでにできているからです。今のは、あまり良い英語の文章構造ではないですね？ もうすでに準備ができている。この文章構造の方がマシですかね？ もうすでに。この預言が起こる前に起きなければならないことは何もありません。この預言が実現する前に、ひとつだけ起こらねばならないことがありました。それは、イスラエル国家の奇跡的な再建です。それは 1948 年 5 月 14 日に実現しました。それが 37 章の預言でした。で、37 章の次は？ 意味深なのは分かっています。38 章です。ですから、37 章が大部分成就し、37 章には部分的な成就がいくつかあって、その最たるものがイスラエル国家の誕生です。なぜなら、エゼキエル書 38 章の、侵略するイスラエルがなければ、イスラエルに侵攻する連合国家はありえないからです。皆さんに伝わったのを願います。これが最高の説明ですから。ですから、「エゼキエル 38 章」の成就を阻む唯一のものは、イスラエルが国として再建し、自分たちの土地に戻ることでした。その欄は、レ点/チェック済み。聖書教師たちが、基本的に言っていることは、他にもいくつかあり、「いや、これはまだ一致していない。それがロシアなら、、、」多数がそう信じていますが、私はそれを否定しているわけではないし、要求しているわけでもありませんけど、5 年前に、ロシア、イラン、トルコ、その他の国々全てが、当時はまだ、勢揃いしていませんでした。また、今から 5 年先へ早送りしたとして、地政学的に全てがこの速さで動いているなら、これらの国々がまだ（5 年先に）いるという道理は成り立ちません。イスラエルの北にあるシリアで、この預言を成就させるための GO サインを待つ、これらの国々が準備万端である確率を考えれば。私は長年、いや実際何十年も聖書預言を教えてきています。覚えている人、私は長年、毎週の「聖書預言・アップデート」の中で、エゼキエル書 38 章と 39 章、そしてそれに付随する他の預言について教えてきました。私の特権のこの説教壇に立って、基本的に、私たちがレ点を入れる欄がさらに増えたと、つい最近になるまで言えませんでした。これは、これまでです。すべてが整っています。

「まあ、そうだけど、まだ壁がある。」先週このことは話しましたね。欄にはレ点です。「まあ、でもイスラエルは安全に、安心なところに住んでいる。」欄にはレ点です。その意味は、「自信満々に」です。イスラエルは今、非常に自信を持っています。「まあ、イスラエルは土地に戻るだけでなく、非常に繁栄しなければなりません。」欄にはレ点です。ですから、ひとつひとつ全部確認すると、すべての欄にレ点が入ります。今夜は、またレ点が入る、もう 2、3 個入ると思います。特に 9 節のところで、ネタバレになりますから、9 節まで、待ちましょう。では、皆さん、準備はいいですか？ よろしい。1 節から、

ーエゼキエル 39：1ー

「人の子よ、あなたはゴグに向かって預言せよ。...そうこれは、38 章で見たことの繰り返しです。...『神である主はこう言われる。メシエクとトバルの大首長であるゴグよ、わたしはおまえを敵とする。

一エゼキエル 39 : 2一

わたしは〜〜〜する。...この2語を覚えておいてください 2語 : I will / わたしはする。この章で、数えたら11回出てくると思います。神が、預言者エゼキエルを通しての宣言です。2語 : I will / わたしはする。「誰が？」わたしがする。わたしがする。

...わたしはおまえを引き回し、おまえを駆りたて、北の果てから上らせ、イスラエルの山々に連れて来る。

一エゼキエル 39 : 3一

おまえの左の手から"弓"をたたき落とし、右の手から矢を落とす。

さっと言いますので、この単語"弓"に留意ください。原語のヘブル語の単語には、"ミサイル"という意味があります。それを覚えておいてください。ここにある武器の説明は、ほとんどの場合、原始的なものに見えますが、これは、これから見るように、非常に進化した武器です。いいですか。では、4節、

一エゼキエル 39 : 4一

おまえと、おまえのすべての部隊、おまえとともにいる国々の民は、イスラエルの山々に倒れ、わたしはおまえをあらゆる種類の猛禽や野獣の餌食とする。

一エゼキエル 39 : 5一

おまえは野に倒れる。わたしがこれを語るからだ 一神である主のことば一。

一エゼキエル 39 : 6一

わたしはマゴグと、島々に安住している者たちに火を放つ。...自信に満ち、傲慢に、沿岸沿いの土地で。

ところで、補足ですが、その言及にアメリカを当てはめることはできません。うまくいきません。そういう風にはいきません。OK? 比喩をお許しください。もっといいのがあれば、それを使います。

...彼らは、わたしが主であることを知る。

それについてはこれから話します。で、7節、

一エゼキエル 39 : 7一

わたしは、わたしの聖なる名をわたしの民イスラエルの中に告げ知らせ、二度とわたしの聖なる名を汚させない。諸国の民は、わたしが主であり、イスラエルの聖なる者であることを知る。

聞いてください。8節、

一エゼキエル 39 : 8一

今、それは来て、成就する 一神である主のことば一。それは、わたしが語ってきた日である。

訳：もう決まったこと。聖書預言は、歴史の先取りです。神が仰れば、決まり。「それは、わたしが語ってきた日である。」「それは必ず成就する。」ちなみに、これはネタバレ注意ですけど、今週の日曜日「聖書預言・アップデート」のタイトルは、「裁きの日が来る理由」です。「裁きの日は来る。」ではなく、違います。「理由」です。「神の裁きの日が来る理由」です。預言者たちや聖書中の預言を通して、主が語られた日です。その裁きの日が、誰も想像できないほど早くやって来る理由。それは、日曜日まで待たねばなりません。情報多すぎます? OK。ですから、神がここで宣言されているのは、これはすでに決まったこと。まだ起きていないけれど、、、私の認識では、私が言っているのは、2600年以上も前に、もう決まっていること、もう決まっている。何が言いたいんですか? ポイントは、それが起こること。それは起こります。それは成就される。言い換えれば、これは起こります。私はそれがもういつでも起こると信じます。全ての欄はレ点/チェック済みで、全てが完璧に正確に整列しています。終わりの時にそうなる神が語られたように、

神が語られたその終わりの日に。9節、さあ来ました。覚えていますか？

一エゼキエル 39：9ー

イスラエルの町々の住民は出て来て、武器、すなわち、盾と大盾、弓と矢、手槍と槍を燃やし、それらで火をおこす。彼らは、七年間それらで火を燃やす。

あ？！ 待ってください！ おお、7年間？ これについて話す必要がありますよ。まだ興奮しすぎないように。で、明らかに、これは携挙前に起こるはずだと信じる人たちがいます。イスラエルは7年間、これらの兵器を燃やして燃料にせねばならないからです。ですから、それは7年の患難時代の7年間であるはずだと。ただし、それにはいくつかの問題があって、3年半が経ったところで、ユダヤ人は、現代のヨルダン、ペトラに逃れ、後半3年半の間、彼らを滅ぼし尽くそうとする反キリストから、神が守られるからです。多くの預言がありますが、そのうちのひとつ、主要なのが「マタイの福音書24章」です。私たちが愛称する「オリーブ山の説教」で、イエスが詳細を語られるのが、この日、ユダヤ人が祈る方法で、「ダニエル書9章27節」で語られる「荒らす忌まわしいもの」が現れ、彼らがエルサレムから逃げるとき、その時、これは自分たちの救世主ではなく、偽りの救世主だと悟ります。言い換えれば、彼らは救世主だと思っていたキリストが反キリストであることに気づき、そのことが、彼らを真のキリスト、真の救い主、彼らの真のメシアへ導くきっかけとなり、その時、彼らはエルサレムから逃げ出します。イエスが仰るには、その日が安息日にならないように祈りなさい。交通機関が閉鎖するからです。(マタイ 24：20参照)

「(それらの日に、) 身重の女たちと乳飲み子を持つ女たちは哀れです。」(マタイ 24：19)

再度、移動が妨げられ、はるかに困難になるからです。これが起こる時、その時期でないように祈りなさい。冬でないように。それが冬でないように祈りなさい。(マタイ 24：20参照)

イスラエルに行ったことのある人、1年の特定の月、2度と行きませんよね。イスラエルの冬は本当に寒く、雪が降ることもあるからです。私は雪が好きじゃないです。私は十分過ぎるくらい、雪の中で暮らし、一生分の雪かきをしました。とにかく、私の問題はさておき。神よ、感謝します。「私をオアフ島に遣わしてください。」神はそうなさいました。しかし、特にエルサレムに雪が降ると、普段は雪は降りませんが、雪のためにすべてが閉鎖されます。雪だから。どうします？ 私たちにはスノータイヤがないから行けません。「これが安息日でないよう祈りなさい。」理由は、安息日のエレベーターは、基本的に日曜日まで、ずっとそこに立っていることとなります。実際は安息日が終わる土曜の夜の日没ですけど、安息日のエレベーターは動きません。ですから、異邦人は安息日なしのエレベーターを使わねばなりません。それ覚えていますか？ ボタンを押しても何も起こりません。おお、安息日のエレベーターなのか。異邦人はあちらへどうぞ。異教徒は、このエレベーターを使え。とにかく、ごめんなさい。必要じゃないかも。7年間に話しを戻しましょう。ですから、それが問題です。理由は彼らがすることが、武器を持って行き、7年間燃やす？ ペトラに後半3年半の間いるのにな？ それでは理に叶っていません。7年の患難時代の間、この時点のイスラエルの問題もあります。言いようのないほどの恐怖の震源地、特にエルサレム、特に神殿の丘が中心だから。反キリストが荒らす忌まわしいことを行行(第三)神殿が再建されていると私は理解するからです。(患難時代の)早い時期に再建されると信じられています。ちなみに、それも簡単にレ点/チェック済みにできます。反キリストが至聖所で荒らす忌まわしいことを行うためには、至聖所に神殿が再建されねばならないからです。ところで、来週は40章ですが、主の御心なら、私たちがまだここにいるなら、「エゼキエル38章」で、携挙がまだ起こっていないなら、最終章までの8章を学びますが、40章から48章は、千年王国時代の神殿について非常に詳しい記述があります。王国時代：墮落前の地上の状態で1000年間の支配と統治。それは、、、それは来週です。ですから、日曜日、火曜日、それから、来週の木曜日の話です。待たないといけません。OK。というわけで、ここで問題があります。ここでホットスポットについて話すこととなりますから。ところで、もしエゼキエルの言うような壊滅的なものなら、まさにそうなのですが、神ご自身が火を放ち、この国家連合に決定的な打撃を与えられます。以前にも述べたように、これは約24時間以内に行われるとの見解もあります。これは1日限りの出来事なのです。今から読むこととなりますが、神はこの国々の同盟にご介入され、中断され、打ち負かされます。イスラエルのためではなく、むしろイスラエルよりも神の御名と栄光のためになさいます。それでは、7年間の話に戻ります。イスラエルが兵器を燃やし、燃料として使っていることについて述べるために、私はできる限りのことを考えました。7年の患難期/患難

時代の7年間、私はかなりいい線いきましたね。ここまでたどり着いたことに関心します。しかし、原文を調べたのち、技術的にはこうは読めないことを発見しました。説明させて下さい。

—エゼキエル 39：9—

「彼らは、七年間それらで火を燃やす。」

原文には、“彼らは火を起こすだろう”ではありません。もっとこのように読めます。“この燃料は7年間火を供給できるだろう。”それだけ量感があるのです。さて、この文は、これから私たちが読もうとしていることと一致しています。というのも、巨大な武器を持った巨大な軍隊、そして大量の死体の後処理に何カ月もかかるからです。生々しくて申し訳ありませんが、とにかくかなり生々しくなってきます。イスラエルを侵略しようとかかってくるこの大軍、この軍隊、この偉大な軍団を打ち負かしたことで死骸、膨大な死骸で溢れています。では、この7年間をどうすればよいでしょう？ このまま放っておけばいいと思います。まず第一に、それは必要ありません。これは証明のための記述ではありません。7年の患難時代に関する聖句や預言はたくさんあります。「エゼキエル39章」の1節の、この不明瞭で曖昧な言及は不要です。この記述を7年の患難時代に当てはめる必要はありません。考えてみてください。1節から3つの単語を抜き出して、それが7年の患難時代だと言うことを主張するには無理があります。言いますが、私はやってみました。私があなただの手間を省きましょう。うまくいかないし、その必要もありません。必要ないのです。それでいいですか？（会衆：はい）じゃあ、放っておいてもらえますか？ OK。私はそうせざるをえませんでした。完全に言い尽くしたかどうか分かりません。まだその話をしているから、まだそうではないみたいで。もうそうあって欲しいけど、自分がそうある必要はないのです。いいですか？ わかりました。10節。わお、それってキツかった。

—エゼキエル 39：10—

彼らは野から薪を運んだり、森から木を切り出したりする必要はない。武器で火を燃やすからだ。彼らは略奪した者たちから略奪し、かすめ奪った者たちからかすめ奪う —神である主のことば。

私はこれがとても好きです。これ、神です。これが神なのです。繰り返しますが、イスラエルのためではありません。ご自身のため、ご自身のお名前のため、ご自身のご栄光のためです。

—エゼキエル 39：11—

その日、わたしは、イスラエルのうちに、ゴグのために墓場となる場所を設ける。それは、海の東にある去りゆく者たちのための谷である。そこは通行人の道をふさぐ。そこにゴグと、その大軍すべてが埋められ、そこはハモン・ゴグの谷と呼ばれる。

ここで12節へ進む前に、また一つ、完成数である「7」が出てきました。留意ください。神が埋葬場所を指定し、名前までつけなければならぬほど膨大な数の遺体を埋葬しなければならないのです。事実、あまりにも多くの死体があるため、そのルートを通りたい者がいても、死体が邪魔をして通れなくなるからです。人が通れません。遺体の山で。申し訳ありませんが、この悪臭が想像できますか？ そんなことをしたら、どんな観光地もすぐに潰れてしまうでしょう。ですよね？ だから旅行者たちの邪魔になるだろうし、大多数の死体や武器があり、彼らはそれらすべてに対処しなければならなくなります。これが、私たちのためにここで言い表していることだと思えます。その物流ときたら。12節を聞いてください。

— エゼキエル 39：12 —

7カ月間、イスラエルの家は、その地をきよめるために彼らを埋め続ける。

（その理由、これは重要なことです。）これは重要な詳細です。

— エゼキエル 39：13 —

（誠に、）その国のすべての民が埋める。こうして、わたしの栄光が現される時、そのことは彼らにとって名誉となる —神である主のことば—。

またここに出てきます。これからまた見ることになるでしょう。すべては神のご栄光のために成し遂げられるのです。

— エゼキエル 39 : 14 —

すなわち、選り分けられた特定の人々が地を巡り歩き、...

どれだけ詳細なのでしょうね？ とんでもない大問題だ。こんなにたくさんの死体がある。どうするんだ？

我々は人を雇わないといけない。我々は人を雇用しなくては。搜索隊にこの「地を巡り歩いて」もらい、「地の面に取り残されている者たちを埋めて」もらう必要がある。また出てきましたよ。

...その地をきよめる。彼らは七か月の終わりまで探し回る。

すべての遺体の搜索を終えるだけでも実に7カ月を要するといっています。

— エゼキエル 39 : 15 —

巡り歩く者たちは地を巡り歩き、人間の骨を見ると、埋める者たちがそれをハモン・ゴグの谷に埋めるまで、そのそばに標識を立てておく。

— エゼキエル 39 : 16 —

そこの町の名はハモナとも言われる。こうして彼らは地をきよめる。』

OK、皆さん大丈夫？ まだ大丈夫ですか？ OK。ここで何が起きているのでしょうか？ よく考えてみてください。神が決定的なことをなされました。それをなされたのが神であることに疑いの余地はありません。ここで行われていることは、神だけがおできるになることだからです。あらゆる可能性どころか、不可能な可能性に対してもです。これは、神がそれを行うお方でない限り、これは説明が付きません。で、私たちは再びその余波にさらされています。私達はこれらの死体すべてを集め、処理するために多くの人々を雇うこととなります。彼らは土地を搜索しなければならず、体、骨、死骸に印をつけ、それに触れようとはしません。その代わり、私たちが雇った搜索隊によって発見されたことを示すために、これらに目印をつけておくことになっています。そして、プロが来て適切に埋葬を済ませてくれるのを待つこととなります。さて、これは「ゼカリヤ書 14 章」と一致する、と考える人もいます。12 節あたりだったと思うのですが。私の思い違いかもしれないけれど。ここでもまた、まだ未来の預言が生々しく描写されているのですが、目玉が.....、すみません、その場に立っている人の眼窩の中で溶けてしまうのです。そして、これは核放射線の現象を意味すると考える人々もいます。そして彼らはそれを「エゼキエル書 39 章」のこの部分と結びつけ、搜索隊が放射線のためにそれに触れない可能性を提唱しています。彼らはただ目印をつけて、あとは危険物処理班が来て処理してくれるのを待つだけだと。しかし、ちょっと待ってください。それもなかなかうまく説明が付きません。なぜかという、たとえ放射線を被曝した死体の近くにいたとしても、私はそこに目印をつけるために、その場に留まるつもりはありません。あなたはどうですか？ つまり、私は今、晒されているということです。触れる必要などありません。ただ近くにいるだけ。私のメーターによると、それを示すのに十分な放射線量があります。これは危険なレベルだから、この辺にいるつもりはありませんよ。もう見つけたし、自分の仕事はちゃんとやりました。ここからはあなたが対処してください。核兵器なら、私はここを離れます。私は到底そこには達しません。より良い説明と解釈はこうだと思います。ユダヤの文化では、この身体は汚れています。「その汚れた地を清める。」その接点がわかりましたね？ そうですね？ 清める。汚れているから清める。ですから、彼らはそれに触れようとしません。ユダヤ人の埋葬に関する習慣に従って、適切に埋葬するために、そのような人たちを連れて来るのです。死体には触れないように。だから、その方がしっくりくると思うのですが。皆さんはどう思います？ これで、あなたの夜を完全に台無しにしてしまいました？ 考えすぎですか？ そんなことはないと思うのですが。私は自分がそうすることを知ってますけど、でも、その解釈についてよく考えようとしているんです。なぜそれが重要かという、もしそれが別のものであるとしたら、私は、この預言の成就を妨げるもうひとつの障害を持ち込んだことになるからです。もうひとつチェックしなければならない項目ができてしまい、そうかもしれませんが、より良い説明は、それが汚れているということだと思うのです。では、17 節。ここまでは大丈夫ですか？ この

まま進んでいいですか？「どうか進んでください。」とおっしゃる方もいるでしょうがね。

— エゼキエル 39 : 17 —

人の子よ、神である主はこう言う。あらゆる種類の鳥と、あらゆる野の生き物に言え。『集まって来い。... (これ、注目。) ...わたしがおまえたちのために屠るわたしのいけにえに、イスラエルの山々の上での大いなる祝宴に、四方から集まれ。おまえたちはその肉を食べ、その血を飲め。』

まだ大丈夫ですか？ ところで、私たちはイエス・キリストの肉体と血潮を祝うために聖餐式を行います。人類の罪のための一度きりの犠牲、生け贄であられます。この皮肉が分かりますか？ この場合、神の子羊という動物が犠牲になりました。そして、私たちはそれに与ります。でもこれは逆です。人間が犠牲になっています。動物たちが、生け贄になる代わりに、それを食べるのです。これって、私、言い過ぎですかね？ これは、..、そう、ですから、こんなユーモアに気づいてしまって、悪いのですが、神がこんな感じで、「あなたは昼夜を問わず、24時間、週7日働いて、すべての遺体を埋めようとしています。鳥に食べに来るように誘うのはどう？ そうすれば、あなたは対処しなくて済む。」そういう感じです。「そうすればきっと休みが取れるでしょう。少なくとも、あなたがそれをする必要はなくなる。鳥たちがそうすれば。」神によって聖別されたという意味で生贄です。繰り返しますが、今夜、私たちは聖餐式をしますよ。

— エゼキエル 39 : 18 —

勇士たちの肉を食べ、地の君主たちの血を飲め。雄羊、子羊、雄やぎ、雄牛、それらはすべてバシヤンの肥えたものだ。

— エゼキエル 39 : 19 —

(わたしがおまえたちのために屠ったいけにえの中から、) 脂肪をたらふく食べ、...

補足で説明します。ステーキの一番美味しい部位をご存知ですか？ 脂肪です。言うんじゃないかったですね。一番柔らかい。いや、皆さんが空腹なら、そのために言いました。

...わたしがおまえたちのために屠ったいけにえの中から、脂肪をたらふく食べ、(私たちは脂肪をととてもうまく使いましたよ。) その血を酔うほど飲むがよい。

— エゼキエル 39 : 20 —

おまえたちはわたしの食卓で、馬や騎手、勇士やすべての戦士をたらふく食べる—神である主のことば。』

これはいく人かのために、念の為に言う良い機会ですけど、どうか、どうか、どうかこれを寓話、霊的だとはしないでください。これは文字通りに起こります。私がそう言う、分かっている理由は、「ヨハネの黙示録」に、ハルマゲドンの戦いの後、空の鳥が横たわった死体の死骸を食べるという記述があります。それで、エゼキエル 38 章と 39 章を、ハルマゲドンの戦いと同義だと誤解している人がたまいます。そんなことはあり得ません。私は、このゴグとマゴグの戦いの預言は、7年間の患難時代の終わりのハルマゲドンの戦いとブックエンドのようだと、教条的にではなく、今でも信じています。話の向かう先が分かりますか？ エゼキエル 38 章のゴグとマゴグの戦いがそのブックエンドの始めで、ハルマゲドンの戦いが、ブックエンドの終わり。因みに、ハルマゲドンの戦いは、厳密には戦いではありません。主がこんな感じで、仰います。「はい。ダメ。」それで終わります。ですから、ブルース・ウィルスのファンの人には、申し訳ありませんけど、どういう意味か分かりますか？ 映画を参照して悪いのですが、映画のタイトルが「アルマゲドン」じゃなかったですか？ 小惑星か何かの話だったのでは？ よしてよ。マジですか。はいはい。OK。これはメギドの谷、エズレルの谷で、神は最後の戦い、ハルマゲドンの戦いのため、すべての国々をこの谷に集められます。OK。私たち大丈夫ですか？ よかった。うわー、誰も何も言わなかったから大丈夫じゃない。私、やっちゃった？ 今回は本当にやっちゃったかな？ 私たち、大丈夫ですよ？ 少しはマシになりましたかね。では、次の 21 節に進みます。

— エゼキエル 39 : 21 —

わたしが国々の間に（これを見逃さないで→）わたしの栄光を現すとき、国々の民はみな、わたしが行ったわたしのさばきと、わたしが彼らの上に置いたわたしの手を見る。

— エゼキエル 39：22 —

その日以降、イスラエルの家は、わたしが彼らの神、主であることを知る。

ついて来ててください。23 節、

— エゼキエル 39：23 —

国々の民（異邦人）は、イスラエルの家がわたしの信頼を裏切った咎のゆえに捕らえ移され、わたしが彼らから顔を隠したことで、また彼らを敵の手に渡したゆえに、彼らがみな剣に倒れたことを知る。

これが、「異邦人の満ちる時が来るまで」（ローマ 11:25）

イスラエルは今、盲目になっています。神は御顔を隠されました。しかし、その時は終わろうとしています。そして、7年間の患難時代が来ます。患難時代の目的は、ユダヤ国家の救いのため。このことが、多くの人が大きな問題に巻き込まれる理由です。つまり、彼らが、教会とイスラエルとの境界線を弄び、混乱させ始めたとき、彼らは神と大きな問題を抱えます。なぜなら、あなたが教会とイスラエルの区別に曖昧な境界線で、気まぐれで、早とちりや駆け引きをし、なんてことですか。その一線を越え、教会がイスラエルに代わって神に選ばれた民、神の選民となるという置換神学に走るとは。皆さん、お気づきですか？ 教会を7年の患難時代に入れずして、この悪魔の偽教理の支持はできません。それが、完全に、間違っ、悲しいことに、彼らが患難前携挙という健全な教理を、解体した理由です。皆さん、ご存知ですか？ 話をそらせるつもりはありませんでしたが、話す必要があると思います。私が話をそらせたがるのは分かっていますけど、最後まで聞いてください。言わせてください。あなたが嘘をつくとどうなりますか？ あなたは嘘に拘束されます。いやいや、この例えを使います。子供の頃、母が経営していたカフェのレジから3.75ドルをくれました。母は、「ワヒド～～！！（そういう高音で）理容室へ行ってらっしゃい。」ええ、母はコインをくれました。その小銭は、ピンボールマシン行きです。—（笑）— それがコインたちの最終目的地です。私は、その小銭をもらって、もちろん、理容室へ行くつもりでした。でも、私にこう語りかける声があった、「わあ、すごい数のピンボールだね。そのコインでピンボールして、ママに散髪したって嘘つけば？」あの～これは私の子供の頃の話で、ちゃんと散髪するための髪があったんです。—（泣）— もう元には戻りません。私は髪用のブリオパッドを使って、髪を切ったように見せるため髪をなでつけるようにしました。そう、私が今しているようにね。その話には、もう戻りたくありません。私は散髪しませんでした。散髪に行ったら、一本しかカットできなかつたでしょう。そう、もう終わり。私は髪を後ろにとき始めました。それで時間節約。それが私の話でこだわりです。例えの話に戻ります。十分に楽しみました。罪は一時の楽しみ、束の間です。でも、結局はとても苦いものです。現実に気づき、家まで歩いて帰る時、自分で気づきます。「お。。なんということ。ママに散髪したかどうか聞かれる。散髪しなかつたんだから、嘘を吐かなきゃ。」もれなく、私がドアから入ると、母は私を見て言います。「散髪したの？」「うん！」＝嘘その1

私は、嘘に拘束されます。長期的にです。これは長期的な拘束です。命懸けで嘘をつきとおさないといけなから。どうすれば、命懸けで嘘をつきとおせるのか？ 嘘をつき続けるしかありません。なぜなら、嘘をつき続けないなら、嘘がばれてしまいます。それで母は言います。「じゃあ、誰にカットしてもらったの？」さあ、嘘その2。「ああ、あの理髪師だよ。」母：「おお、何時に行ったの？」さあ、嘘その3。私は必死です。私は必死になっています。私はできる限り、それを貫きます。ポイントはありますか？ はい、あります。準備はいいですか？ 言いますよ？ 偽教理という嘘を買えば、あなたはそれに拘束されます。例えると、あなたが携挙は、7年間の患難時代前ではないという嘘を買えば、もうあなたはそれに拘束されます。患難前でなければ、教会をどうするつもりですか？ あなたは、教会が患難時代に入るとするなら、あなたは嘘その2をつく。すると、あなたはそこから巨大な問題を抱える。なぜなら、144,000人（黙示録 7:4）ついてどうします？「ああ、霊的なことにすればいい。」OK、その弾丸はかわした。するとどうします？ 嘘、嘘、嘘。これが、彼らが最も大きな、、ここで使う言葉には気をつけねばね。ばかばかしく、不条理に、聖書を捻じ曲げ、嘘を貫く。じゃあ、教会が患難時代に入るなら、私たちは斬首されるのですか？ じゃあ、パウロが語ったように、

「ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」(Iテサロニケ 4:18)

そんな残酷な。ちょっと待って。私はキリストの体だと、キリストの花嫁であるキリストの体の一部だと思っていました。わあ、花婿は結婚式の前に花嫁をボコボコにするの？ なぜそんなことをするの？「そう、あなた方は自分を証明するのだ！」それって、さらに問題が大きくなります。なぜか？ それなら行いになるからです。救いを獲得しなきゃなりません。私は恵みによって、救われたのです。神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇るものがないためです。(エペソ 2:8-9)「エペソ人への手紙2章8節9節」をどうするのですか？「え～なんというか～まあ～●◆✕▲・・・」皆さん、ポイントが分かりましたか？ OK。この話がどこからやって来たのか分かりませんが、それを正当化するのに、私はきっと何か思いつくでしょう。ああ、そうそう、これです。神はユダヤ人を見捨てておられません。今は彼らから御顔を隠しておられますが、しかし、もうすぐ、非常に近いうちに、その時がやって来ます。教会が取り去られたら、その最後の7年間、神はご自身の焦点のすべてを移されます。「ダニエルの第70週」、またはこれ「ヤコブの苦難の時」と呼ばれます。ヤコブは、イスラエルでは？ 教会の苦難の時だということですか？ わお～それって全てを曲解した聖句のプレツェルですよ。そんなこと出来ません。止めてください。それをするのを止めてください。おお、それなら、、、すべきじゃありませんけど、新使徒改革(NAR)、キングダム・ナウ神学、支配神学に入ることになりますよ。日曜日に話しました。話したんじゃなくて、叫んで、怒鳴りました。そう、世や悪魔や肉に対して少し腹を立てることがあります。義の怒りです。正直に言うと、私はちょっと怒っています。それは正しくないからです。正しくないからです。多くの人が道を踏み外しています。今学んでいる「ユダの手紙」に、このような者たちがこっそり忍び込み、私たちの主権者であるイエスを否定するよう多くの人々を誘導し、欺いています。彼らはとても狡猾で巧妙で、神の御言葉を知らず、健全な教理に根付いていず、真理の御言葉をまっすぐ説き明かしていない(IIテモテ2:15参照)騙されやすいクリスチャンを餌食にします。これらの欺く者たちにとって、収穫しやすい果実です。彼らはこっそり忍び込みます。それが私を怒らせました。では、、、いいでしょう。皆さんも、怒りますか？ さあ、皆さんも怒ってください。もちろん義の怒りです。では、23節終わりましたよね？ 24節、

— エゼキエル 39:24 —

わたしは彼らの汚れと背きに应じて彼らを罰し、わたしの顔を彼らから隠した。

— エゼキエル 39:25 —

それゆえ、神である主はこう言われる。「今、わたしはヤコブを回復させ、(ボン！マイクドロップ/決まり)イスラエルの全家をあわれむ。これは、わが聖なる名への、わたしのねたみによる。

— エゼキエル 39:26 —

彼らが自分たちの地に、だれにも脅かされずに安らかに住むとき、彼らは自らの恥辱と、わたしに対するすべての不信との責めを負う。

これは、「ローマ人への手紙」にある通り、イスラエルの全家が救いに至るといふ、この先の未来の預言です。7年間の患難時代の終わりに、ユダヤ人は、自分たちが突き刺した方に来てくださるよう、呼び求めます。サタンはそのことを知っていますよ。だから、「ユダの手紙」の学びで話した通り、カインとアベルの最初から、サタンは、女の種のユダヤ民族を排除し、絶滅させようとして来ました。それについては、日曜日にもう少し詳しく話すつもりですけど、サタンは、女の種からの世の救い主の初臨を妨げようとしてきました。で、サタンは失敗しました。もちろん彼は失敗します。彼は今、再編成し、救世主の再臨を阻止しようとしています。どうやって阻止しようとするのか？ イスラエルがないなら、救世主もありません。それが主が来られる理由で、誰のために来られるのかです。ですから、サタンがユダヤ人を絶滅させられれば、世の救い主の再臨を阻止できます。彼は、「創世記」から始まって、文字通り、最初からそうしようと躍起になっています。聖典を通して早送りし、前世紀でさえ行ってみると、ヒトラー。その悪魔的、サタンの試みは、ユダヤ人すべてを滅ぼし、消滅させようとするものでした。なぜなら、それが成功する可能性があるとするれば、そうなると、イスラエルのためのイエス・キリストの到来を阻止できるからです。教会のためではありません。全く。私たちは、7年間の患難時代前に、ここから出ていきます。そうでなければなりません。私たちは邪魔にならないように出ていかねばなりません。ですから、主は、7年の患難時代前に花嫁を取り去

られます。そして、7年の患難時代、イスラエル全家が救われます。27節、

— エゼキエル 39：27 —

わたしが彼らを諸国の民の間から帰らせ、彼らの敵の地から集めるとき、多くの国々が見ている前で、わたしは彼らのうちにわたしが聖であることを示す。

— エゼキエル 39：28 —

わたしは彼らを国々に引いて行かせたが、また彼らを彼らの地に集め、もう国々には一人も残さない。このとき彼らは、わたしが彼らの神、主であることを知る。

それから、これです。

— エゼキエル 39：29 —

わたしは二度と、わたしの顔を彼らから隠すことはない。わたしの霊をイスラエルの家の上に注ぐからである—神である主のことば。」

これは、聖餐式のお祝いにこのようにつながります。これは、神が私たちの敵に対処する際になさることで。留意ください。イスラエルはこの件に何もしていません。神のみがなさり、もたらされた勝利の食卓に、イスラエルは、何ももたらしません。皆さん、聞いていますか？ 言い換えれば、預言の中で繰り返し語られていることですが、「わたしがこのようにしたのは、わたしの栄光のためである。」誰もが見て言います。「ほー！」地元民だから。わお〜！ です。イスラエルの神に仕えるとは、これはいったい何の神なのか？「あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。」(ミカ 7：18)

この方が神です。それが全ての目的です。わたしはただこれをするだけではなく、こういうことのためにします。間違いなく、紛れもなく、わたしがしたのだと分かるように。その時、あなた方はわたしがあなた方の神、主だとわかる。この文脈の中のこのことについて考えてみてください。エゼキエルが、まだバビロンのテル・アビブにいる時、与えられたもので、彼はこのことについて預言しているからです。あなたはユダヤ人としてバビロンに捕らわれ、エゼキエルは、神がご自分の民を回復し、もはやご自分の民から御顔を隠すことなく、ご自分の民に救いをもたらし、ご自分の民の敵を打ち負かすため何をなさるかを預言しています。勇気づけられますか？ 神があなたのためにそうしてくださるといふ希望を持ちますか？ もっと個人的に当てはめてみましょう。あなたには今、人生で、神に「エゼキエル 38章と 39章」をしてもらいたい人がいるとします。さあさあ。構いませんから。言わなくていいです。あなたを見ませんから。手を上げなくていいですよ。何の話かわかるでしょ。神はすべてを記録しておられます。なぜなら、「あなたがたはわたしの民である。」から。彼らはあなたに対して陰謀を企てている。彼らは、あなたを攻撃している。彼らはあなたのことをソーシャルメディアに投稿する。彼らはあなたからそのすべてを奪おうとする。すると神が駆けつけてくださり、決定的な一撃を与えられる。「主よ、ありがとうございます。わお〜。」「ええ、わたしはそれをわたしの栄光のためにしました。そういう方法でしたので、誰もが、わたしがしたのだと分かります。わたしにしかできないからです。彼らはあなたに敵対し、悪口を言い、あなたにあんなことをしました。だからわたしが引き受けます。あなたのために、わたしが対処します。わたしを助けようとしなくてください。わたしが引き受けるので。」「ええ、でも彼らは、、、」「はい、全て知っています。わたしが何を計画しているか、今にわかります。実は、彼ら全員のための埋葬区画があります。わたしのために、わたしの栄光のために。でも、わたしがします。わたしが敵に対処します。あなたの敵全員に。わたしは、あなたを敵地から連れ戻します。わたしはあなたの目の前で、敵国のすべての国の目の前で、神聖になります。なぜなら、間違いなく、これらの国々は皆、イスラエルを見て言います。"私たちはもう敵ではありません。友達になってくれませんか？ 私たちからの、お友達リクエストを受け入れてくれますか？ どうかお願いします。もうあなたの敵になりたくないから。神が、あなたの敵になさることも分ったからです。"と。待っていない。神が最終決定権をお持ちです。自分の手で問題を解決してはいけません。『言うは易く行は難し』は分かっています。でもこんな風にしようとしなくてください。「さあ神よ、ショーを始めましょう。私には考えがあります。」私たちは常に提案します。「そう、彼らを燃やしてしまうこともできるし、来たるべきアトラクションの予行演習見たく、火をくだして燃やしてしまうんです。」とかね。それってまづいよね。頼みます

よ。自分は違うなんて、皆さん、そういうこと考えますって。神はこうです。「いいえ、わたしが引き受けます。わたしが対処します。わたしはわたしのやり方で、わたしのタイミングで、わたしの栄光のためにします。ですから、待って見ていなさい。今に分かります。」分かりました。ではどうやって聖餐式に結びつくのですか？ 全く分かりません。— (笑) — 「ルカの福音書 22 章」実は、あったのですが、失くしました。

— ルカ 22:14 —

その時刻が来て、イエスは席に着かれ、(12人の)使徒たちも一緒に座った。

— ルカ 22:15 —

イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をするのを、切に願っていました。

イエスは、十字架に向かわれるのが分かっておられます。イエスは弟子たちにそれを仰っているのです。

— ルカ 22:16 —

あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をするのは、決してありません。」

— ルカ 22:17 —

そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの中で分けて飲みなさい。

— ルカ 22:18 —

あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

イエスが語っておられるのは、『子羊の婚宴』です。それは、私たちがイエスの側でイエスの花嫁として一緒に預かる祝宴です。私たちが今夜祝っていること、これをしっかり理解してください。イエスは2回以上、こう仰っています。わたしは切に「望む。」翻訳によっては、「待ち望んでいる。」「わたしは、ここでしようとしていることが実現するまで、待ちきれない。次にこれをするのは、わたしの王国、神の王国の到来が成就するときです。」

— ルカ 22:19 —

それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

ここにおられる人は、セットの上部を開けて、パンを取り、お待ちください。パンは、イエス・キリストの御体、ワインは、イエス・キリストの血潮を表し、記念し、祝う象徴です。パン、御体は、私たちのために、私たちの身代わりに、砕かれました。御体が砕かれました。骨ではありません。骨が砕かれたなら、過越の祭りの献げ物として、過越の預言成就としては、失格でした。出エジプト(12章参照)の子羊は、骨は一本も折られてはいけませんでした。シミも、傷もなく、罪がなし、でなければなりません。種なしパンの祭りは、イースト/酵母を入れないパンです。イーストは罪の型だからです。種なしパンの祭りのパンには、酵母が入っていませんでした。主の御体には罪がなかったからです。イエスは、4日間裁判にかけられた後、しみも傷もない罪のない者と認められました。それは、子羊が屠られる前、検査された時間/日数と同じで、皮膚が切り裂かれ、血が流されました。神の子羊イエスとその十字架上で、生け贄に捧げられる正確な時刻、彼らがその子羊を生け贄に捧げた時です。今夜それをお祝いするのです。イエス・キリストの御体は、私たちのために砕かれました。一緒に与りましょう。

主よ、ありがとうございます。このことに感謝します。あなたを忘れないよう、私たちにこれをする機会を

与えてくださり感謝します。私たちは、あなたが私たちのために死んでくださったことを忘れません。あなたの御体は、全人類の罪のために、一度きりの完全な生け贄、神の生け贄の子羊として、私たちのために砕かれたことを。ですから主よ、あなたが仰ったように、私たちはパンに与りました。あなたのように、私たちもこのことが成就し、あなたとともに分かち合うその日を切に待ち望みながら。主よ、私たちも待ちきれません。主よ、ありがとうございます。ルカが続けて書いています。

ー ルカ 22：20 ー

食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」

ここにおられる人は、セットの下部を開けて、お待ちください。繰り返しますが、象徴ですけど、過小評価されるものではありません。それは罪の赦しのために、私たちの代わりに流されたイエス・キリストの血の象徴だからです。罪の赦しのために。それは罪の清めです。罪を覆う、ヘブライ語「コファル」は古い契約。これは、イエスの血による、新しい契約です。新しい契約は、罪を覆うものではありません。罪を取り除くのです。私たちの全ての罪は、東が西から遠く離れているように離され、(詩篇 103：12)

「たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」(イザヤ 1：18)

そしてもう思い出されません。与る前に、言いたいのは、誤解されないように、言い方に気をつけたいと思います。私の心を聞いてください。私たち全員、私たち一人ひとりが、今夜、この聖書の学びに罪を持って来ました。私たちは既に赦されています。それは既に赦されています。『許された』『それは決まってる』かなりいいですね。カポノ、それを歌にする必要があるよ。それは既に赦されています。私たちは既に赦されています。でも、それ以上なのです。私たちは清められています。雪のように白く洗われています。罪は取り除かれました。私たちは浄化されています。「第一ヨハネの手紙1章9節」、『私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し私たちをすべての不義からきよめてくださいます。』私たちのために流されたイエス・キリストの新しい契約の血は、それだけ強力なのです。私たちが与る際、あなたのすべての罪が、醜くひどいものでも、緋色であっても、この血のゆえに雪のように白くされたことを、あなたの心を祝福くださる許可を聖霊に与えてください。では与りましょう。

主よ、ありがとうございます。皆さんご起立ください。カポノ、上がって来てください。祈りと賛美で締めくくります。

天のお父様、あなたへの感謝の気持ちは、本当に、全く言葉では十分言い尽くせません。あなたは私たちにどんな愛を抱いてくださっているのでしょうか。「罪びとたちのために、生け贄として命を捨てるほど大きな愛はだれも持っていません。」(ヨハネ 15:13 参照)

イエスよ、あなたは私たちがまだ罪びとだったときに、私たちのために死んでくださいました。主よ、今夜、私たちが聖餐式に共に与ったことが、ただ単に形式的で、決まりきったことで、私たちのすることだからという理由にならないよう祈ります。そうではなく、私たちはむしろ、あなたの砕かれた御体と流された血潮であなたが完全に支払ってくださり、私たちに与えてくださった永遠の命という贈り物を持って家に帰りたいのです。ですから主よ、これもあなただけがお出来になられる通り、聖霊の御力によって、あなたを思い起こさせ、まもなく、私たちはあなたとともにこうすることを、思い起こさせてください。戦いに疲れ、ただ打ちのめされるような人生の試練と闘っている多くの人々に、多くの希望と励ましをもたらすと私は知っているからです。主よ、打ちのめされるのは、私たちが取り去られる時に、引き上げられるための前段階なのです。主よ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7